



発行所

公益財団法人
釧新教育芸術振興基金
年1回発行
〒085-0018 釧路市黒金町7の3
(釧新ビル内)
電話 0154(22)1111



釧路、根室の魅力を語る辰巳氏

釧新文化講演会「釧路・根室の情報発信」を

辰巳琢郎氏が提言

公益財団法人釧新教育芸術振興基金（理事長・星匠釧路新聞社代表取締役社長）は平成31・令和元年度に恒例の顕彰・贈呈事業はじめ、釧新文化講演会、美術展示を開催しました。今期の文化講演会の講師は俳優の辰巳琢郎氏で、大阪生まれでもある辰巳氏は、関西と釧路・根室地方の人々が互いに良いところを自慢し互いに知り合うことが重要であると会場を埋めた聴衆に呼びかけました。

辰巳氏の釧新文化講演会は7月20日、釧路センチュリーキャッスルホテルで開かれました。大阪生まれの辰巳氏の講演は「関西と釧路・根室のいい関係」をテーマにトークショー形式で行われました。この中で辰巳氏は「それぞれの地域の食文化を発信していくことは、その周辺の観光資源を開拓する

公益財団法人 釧新教育芸術振興基金 のあらまし

当基金は、「釧新奨学基金」（昭和51年設立）と「釧新郷土芸術振興基金」（同47年設立）の

両基金を統合して昭和57年11月1日に設立した財団法人釧新教育芸術振興基金が前身。平成22年12月1日、公益財団法人に移行しました。基本財産1億円と

運用財産、篤志寄付により毎年「釧新奨学賞」「釧新教育活動賞」「釧新郷土芸術賞」「釧新教育図書」贈呈事業のほか、講演会などの文化事業を開催しています。

伝える素描（デッサン）を展示する「久本春雄の素描展」が1月4日から2月9日まで釧路市立美術館で開かれました。今回の「素描展」では、久本氏の遺族から釧路市立美術館に寄贈された400点を超える貴重なコレクションの中から、よりすぐりの素描を展示、その中にはタンチョウの全体の姿だけでなく、羽や足、くちばしなども鋭い観察眼で細やかに描いたものや、ハマナスやサビタの花などを細密画のように描いた作品などが展示されました。

英国自動人形展 人形と機械模型が人気 西洋で「オートマト」

ことにつながり、それが日本の農業、第1次産業を応援することにつながる」と語り、自身を取り組んでいる活動を紹介した。さらに「そのまちな山なり、海を見ながらその土地の空気を吸って、飲み、食べることは素晴らしい。地元の人たちは自分たちのまちな素晴らしさに自信をもってほしい」と励ましました。また、釧路と大阪が格安航空会社ピーチの就航で直接行き来ができるようになったことに「関西と釧路・根室の人たちがお互いに良いところを自慢し、お互いを知り合うことが大事ではないか。そのためには魅力を情報発信することが必要。自分もその情報発信を応援していきたい」と語りました。



注目を集めた
英国自動人形展



久本春雄氏の素描コレクションが並んだ展覧会

久本春雄素描展

釧路出身日本画家

釧路美術の礎を築いた釧路出身の日本画家、久本春雄氏（1896～1968年）の制作過程を

中河氏、土井上氏が受賞、長倉氏が特別賞 晴れやかに精進誓う

48回目となる今年度の「釧新郷土芸術賞」は、釧路市内住の書道・中河満人さん、別海町在住の水彩・土井上初枝さん、特別賞にフォトジャーナリストの長倉洋海さんを選考し、11月23日にANAクラウンプラザホテル釧路で贈呈式を行いました。



受賞者を囲み授賞式出席者による記念撮影

贈呈式には来賓と過年度受賞の財団関係者ら約60人が出席。星理事長が「受賞を契機に今後一層、釧路、根室地域の文化向上にご尽力いただきたい」とあいさつ。同賞第1回受賞者で選考委員長の羽生輝さんが選考経過を報告し、受賞者に賞状とメダルが贈呈されました。来賓の蝦名大也釧

路市長らが祝辞で受賞者をたたえました。

道、全国に発信していきたい」と語りました。長倉さんは「経験を釧路の子供たちに伝えていきたい。その中で一つでも心に残った子が、外に出て帰ってきてくれれば」と話しました。

受賞者の謝辞では、土井上さんが「身に余る賞をいただき、今後の活動に責任を重く感じている。今まで以上に精進していく」と抱負を述べ、中河さんは「自分の得たものを後進に伝え、釧路の素晴らしさを文字に託して全12団体となりました。

釧新郷土芸術賞

今年度で同賞受賞者は1972年から129人

受賞者の横顔

◇書道 中河満人氏

1954年白糠町生まれ。白糠高校で後藤巨石さんに教わり、書道の芸術としての面白さに触れた。道教育大釧路校では故山口野竹さん、故辻井京雲さんに習い、教員となった後も辻井さんに師事。学生時代から漢字や近代詩文を中心に多くの作品展に出展。2008年に毎日書道展で会員賞、10年には北海道書道展で会友として準大賞を受賞。現在は全国、全道規模の作品展で審査員を務めるほか作品の出展も続いています。勤務先の釧路商業高校では書道部を指導し、後進の育成にも当たっています。

◇水彩 土井上初枝氏

牛飼いの傍ら2005年に始めた水彩で、09年にふるさと別海町の海辺を題材にした空想画「野付潮騒」で第10回日美絵画展大賞に輝き、14年道展新人賞を受賞。自宅の農業用ハウスから見る日常の風景を光と影のコントラストで表現した「これからの日」が評価され、17年には会友となりました。

◇特別賞 長倉洋海氏

釧路市生まれ。1980年に通信社を辞めてフリーの写真家に。世界の紛争地域を精力的に取材し、アフガニスタン抵抗運動の指導者マスードなど長期にわたって取材し続け、多くの写真集を出版しました。第12回土門拳賞をはじめ日本写真協会年度賞、講談社出版文

が短く一つの描写で表情が変わる水彩に魅せられ転向。牛を手放した10年以降は年間3〜4作品のペースで描いています。



第2の人生に向かう心情を重ね合わせた作品を手にとり、土井上さん

化賞などを受賞。写真集は「地を駆ける」「長倉洋海の眼」「世界は広く、美しい」(全6冊)など多数。最近ではふるさと釧路で実家が営んでいた店舗跡を生かして「長倉商店塾」を立ち上げ、塾長として世界を知り、伝える夏期講座や高校生を対象にした特別講座を開いています。



字の形も利用して「樹」を表した作品と中河さん



言葉が通じなくとも、分かり合えることを伝えたい——と長倉さん

昭和小など3校に活動賞

奨学賞21人の活躍に期待

第44回創新教育活動賞と第62回創新奨学賞の贈呈式が11月3日に釧路センター・キャッスルホテルで行われました。優れた教育実践をたえる教育活動賞には釧路市立昭和小学校、別海町立野付中学校、中標津町立計根別学園の3校、学業優秀な高校生を顕彰する奨学賞には釧路、根室管内21校からそれぞれ1名を選考し、本賞と副賞を贈呈しました。



星理事長から奨学賞の盾を受け取る奨学生

今年度の教育活動賞は釧路、根室管内から小学校3校、中学校2校、小中一貫校1校の6校の推薦がありました。奨学賞は各高校からの推薦に基づいて選考しました。

贈呈式では受賞校の校長や受賞生、保護者、基金

創新教育二賞

- 西村 優汰 (釧路湖陵高校)
- 幡手 柚咲 (釧路江南高校)
- 石井 利空 (釧路工業高校)
- 清野 康介 (釧路商業高校)
- 山崎 凌空 (釧路北陽高校)
- 南 忍 (釧路明輝高校)
- 外山 桜 (釧路東高校)

創新奨学賞受賞者

- 船橋 千穂 (阿寒高校)
- 伊藤 綾香 (武修館高校)
- 河江 蒼生 (釧路高専)
- 野村加奈子 (厚岸翔洋高校)
- 諏訪 瑞歩 (霧多布高校)
- 一ノ戸菜穂 (標茶高校)
- 佐藤 穂香 (弟子屈高校)

- 桑山 唯翔 (白糖高校)
- 梶原 颯斗 (根室高校)
- 前原 悠李 (中標津高校)
- 佐藤 日菜 (中標津農業高校)
- 齋藤 さよ (別海高校)
- 加藤 優奈 (標津高校)
- 坂本 風影 (羅臼高校)

奨学生には顕彰楯と副賞各5万円を贈呈しました。蝦名市長らの祝辞に続

保護者らによる職業説明会「昭和小ジョブカフェ」

仕事を児童に説明する「昭和小ジョブカフェ」も



活動賞受賞校の実践
昭和小、野付中、計根別学園

◇釧路市立昭和小学校
(鈴木美恵校長、児童715人)

◇別海町立野付中学校
(飯田雄士校長、生徒40人)

◇中標津町立計根別学園
(村上玄二郎校長、児童88人、生徒41人)

◇飯田雄士校長、生徒40人

◇中標津町立計根別学園
2015年度に中標津町内3校が統合し小中一貫校となりました。翌年度、道内で最初に義務教育学校に移行。9年を1サイクルに協働的な学習を取り入れていきます。1〜4年(小1〜4)は学びや生活の基礎を、5〜7年(小5〜中1)は学びを追求し人間関係を結ぶ力を8〜9年(中2〜3)は学びを伸ばし生き方を追求していく力を付ける期間にしています。教諭は小中の枠を超えて授業を担当し、5年生以上で完全教科担任制を導入。早いうちから専門的な授業で学力向上を図っています。

◇飯田雄士校長、生徒40人

◇別海町立野付中学校
今年度を含む活動賞受賞校は135校、奨学賞受賞者は745人となりました。

◇飯田雄士校長、生徒40人



授業で新聞を活用した「NIE」の学習風景

特徴的な活動の一つ北根室ランチウェイを使った強歩遠足

「創新教育図書」 創根10小中校に 各20万円相当

で本を読む習慣が身に付き、休み時間に読書をする児童が増えました。文化委員会が、全校集会でお薦め本を紹介したり、しおりをプレゼントするなど、児童自ら本を読むきっかけをつくる活動に余念がありません。

れやすい環境を整備して
います。
▽創根市立桜が丘小学校
(梅内尚子校長、児童240人)
月2〜3回、道教育大
創路校の学生が低学年を
中心に読み聞かせを行い、
図書委員会では本をたく
さん借りてもらうために、



星理事長から表彰状を受ける児童代表
(創根市立桜が丘小学校)

当基金は、創路、根室地
域で読書活動に積極的
に取り組む小、中学校
を対象に「創新教育図
書」の贈呈事業を行っ
ています。国語能力と
豊かな人間性を育む読
書活動に役立ててもら
うことが目的です。37
回目の今期も10校を選
考し、各校が選んだそ
れぞれ20万円相当の図
書を7月中に贈呈しま
した。

贈呈には星理事長ら
役員が学校に向き、図
書を手渡しました。今期
の各贈呈校の活動を紹
介します。(順不同)

▽創根市立阿寒湖小学校
(本川敬一校長、児童56人)
全校生徒で毎朝10分間
の朝読書の時間を設けて
います。日々の積み重ね

▽創根市立光陽小学校
(黒坂宏子校長、児童308人)
11月と2月を「読書月
間」とし、児童が期間中
本の題名やページ数、感
想を記録する「読書カー
ド」を作製。図書活動の
見直しや友達と見せ合っ
て新たな本を探すきっか
けにしています。各学年
棟に図書コーナーを設け
本を置いて児童が本に触

お薦め本を紹介するカー
ドを提示、放送委員会と
連携してよく借りられて
いる本を紹介しています。
地域の方が本の修復を
行っており、同委員会
も教わっています。
▽創根市立美原中学校
(藤原聡校長、生徒203人)
毎朝10分間「朝読書の
時間」を設け、読みたい本
を各自用意し読んでいま

す。短い時間だが集中す
ることで自然と授業に入
る態勢ができると、教職
員で共通理解を図ってい
ます。図書委員会では書
店のようなレイアウトや
ポップの配置、ポスター
を掲示するなど本を読み
たくなるよう工夫してい
ます。
▽創根市立北中学校
(松岡伸之校長、生徒268人)
調べ学習で十分に活用
できるよう席を広めにつ
くり、本を手にとっても
らうよう、同校卒業生で
直木賞作家の桜木紫乃さ
んなどの特集コーナーを
設置。図書委員は作品を
紹介するポップを作製し、
本と一緒に平台に配置す
るなど工夫も欠かしま
せん。
▽創根市立昆布森小学校
(野口育子校長、児童20人)
日常的な読書習慣の形
成を目的に各クラスで週
に1度、15分間の朝読書
に取り組んでいます。集
中して読書や学習に取り
組む姿勢が定着し、家庭
やバス通学時などに親
しむ機会が増えています。
2階図書コーナーに推薦
本を置き、関心を高める
工夫を凝らしています。

▽浜中町立散布小中学校
(中村研自校長、児童生徒43人)
小学校は図書放送委員
を中心に、図書室の環境
整備や低学年への絵本の
読み聞かせなど本に親し
む活動を推進。中学校は
文化委員会がお薦めの本
を紹介するポスターを製
作な、町の貸し出しサー
ビスも活用し、生徒たち
の「読みたい」「調べた
い」に対応しています。
▽根室市立啓雲中学校
(二本柳千尋校長、生徒137人)
委員会活動を利用し、
図書室の整備と読書への
推進活動を行っています。
月ごとにテーマを決めて
コーナーづくりを行い、
書店のような本のポップ
で紹介しています。市内
で行われる弁論大会に向
けての準備活動では、積
極的に図書室を活用し、
参考資料などを探し、取
り組むようにしています。

▽別海町立中西別小学校
(打川真由美校長、児童39人)
読書週間を設け児童の
読書習慣を定着させてい
ます。どれだけの本を読
んだかを確認できる読書
貯金、さまざまな本に触
れるためのブックリスト、
お気に入りの本を紹介し
合うビデオバトルなど
に取り組んでいます。図
書資料を活用した授業も
積極的に展開しています。

▽羅臼町立春松小学校
(植島博幸校長、児童100人)
学校図書中心に多様な図
書活動を展開しています。
読書の楽しさに気付き、
幅を広げるために学年に
応じたお薦め本の紹介
コーナー、新聞コーナー
を設置。各学級へ学級文
庫の提供、司書による読
み聞かせなどで読書に親
しむ環境づくりを推進し
ています。

▽公益財団法人創新教育
芸術振興基金役員一覧
理事長 星 匠
常務理事 堀口 義彦
理事 栗林 定徳
理事 中島 太郎
理事 齋藤 孝次
理事 遠藤 修一

理事 佐藤 俊晴
理事 正岡 一男
理事 片山 新平
理事 折原 勝
監事 田中 義之
評議員 足立あつこ
評議員 佐藤 悦夫
評議員 工藤 靖雄
評議員 藤田 卓也

評議員 阿部 信之
評議員 両角 幹彦
評議員 村井 順一
評議員 平岡 育子
評議員 宮田 昌利
評議員 阿部 由香
評議員 久本 俊彦
(敬称略、順不同)

社)山加リス食品株式会社(代表取
締役員長松田茂生)▽共栄中学校教
職員OB会(会長岩倉愛国)はし酒実
行員会▽辨野英幸辨野孝治▽医療
法人社団悟啓会中沢医院(理事長
貝嶋政治)▽在京創路会(足立あ
つこ)▽創路パドリス(第30代会長栗
林延次)▽藤田印刷株式会社代表
取締役藤田卓也▽創路倉庫株式会社
社代表取締役栗林定正▽廣部翠
月▽廣部ベリ美会(アーク)の会チヤ
リテイ▽坪シヨブ▽マルメトウ
(代表取締役伊藤光生)▽The 11
+▽西池彰留江社会医療法人孝仁
会理事長齋藤孝次